工業つ子

No. 099
—発行日—
2014. 05. 20
—編集—
長崎工業高校新聞部
—発行—
長崎工業高校新聞部

強まる友情と科の結束!!

～年度始めの山登り～

五月二日の歓迎遠足。天気に恵まれて清々しい青空の下、柿泊総合運動公園まで大きな事故もなく無事に到着。昼食後は生徒会主催で各科対抗の長縄大会が行われ、わいわいと学年を越えた交流を楽しめました。

▶山登りじゃないよ、歓迎遠足。

◀せーの…飛べっ！（Ａ科・長縄優勝）

遠足といえば…科別交歓会（インタビュー）

①何をしましたか。
②一年生の反応は。
③どんな科にしていきたいですか。
④科の魅力は。
⑤科のみんなに一言。

◆Ｍ科
①コーラの早飲み・一発芸・相撲。
②恥ずかしがってた。
③**最高に丁度良い**クラス。
④双子がいます。
⑤やれば必ず何でも一番。

◆Ｐ科
①自己紹介・相撲・ビーチフラッグ・シュークリームロシアンルーレット。
②普通に楽しんでいた。
③仲が良くて、楽しい科。
④三学年の**皆仲が良い**。
⑤がんばるぞー！オー！

◆Ｅ科
①コーラ早飲み・自己紹介・一発ギャグ。
②うけてた。
③明るく元気で面白い科。
④**行進**。
⑤行進の部で十連覇目指して頑張ろう。

◆Ｃ科
①自己紹介・コーラ早飲み・叩いてかぶってジャンケンポン。
②楽しそう。
③団結力がある感じ。
④みんな優しいところ。
⑤**この一年を大切にしていきましょう**。

◆Ａ科
①自己紹介・コーラ一気飲み・相撲・一発ギャグ・伝統行事（ＨＹの３３６日を歌う）
②笑ってくれた。
③**めちゃめちゃ楽しい**科。
④木材加工ができること。
⑤体育祭で二連覇しよう。

◆Ｉ科
①猛獣狩り・人間知恵の輪
②すごく楽しんでいた。
③パワフルで明るい。他のクラスには負けない科
④みんな仲が良くて明るいところ。
⑤体育祭のパレードで優勝しよう！

◆Ｄ科
①自己紹介・ロシアンルーレット（シュークリームにデスソースを入れる）・ラムネの一気飲み
②一発芸をやったとき笑ってくれた。
③明るい科にしたい。
④団結力があるし真面目。
⑤**体育祭でなんでも良いので入賞したい**。

◆Ｊ科
①ものまね・コーラの早飲み・ドッヂボール
②ものすごくのってくれた。明るかった。
③暗いと思われがちだから、全体的に明るさを出していきたい。
④頭が良いのにそこそこ運動できること。
⑤**明るくいきましょう**。

◀いざ、歌います。

高校初めての遠足「楽しかった」

一年生三十人に遠足の感想や遠足に関する質問をぶつけてきました！

Ｑお菓子は何が好き？。
じゃがりこ／アメ／堅あげポテト／カラム—チョコ／昆布／うまい棒／ミンティア—遠足でお菓子を交換するだけでも仲良くなるきっかけになりますよね。

Ｑ遠足といえば…。
暑い／お菓子／遊ぶこと／きつい／友情／愛を感じる／足が痛い／おむすび／お弁当／友達づくり／筋肉痛／山／眠い—「きつい」「筋肉痛」などのマイナスイメージの中にも「友達づくり」「遊ぶこと」という意見が。きついことも楽しいことも一緒になっているのが遠足なのです。

Ｑ岩屋山を登った感想。
達成感があった／ミミズがでかい／面白い／自然の広さ／楽勝／もう登りたくない／疲れた／険しくて危険／楽しかった—もう登りたくないという意見もある中、登山を楽しめた君は勝ち組だ！

Ｑ科別交歓会の感想。
景品が貰えずがっかり／楽しかった／面白かった／最高／感動した／盛り上がって楽しかった—科の個性が出ていた科別交歓会。**「楽しかった」という意見が大半**で、一年生もとても楽しんでいたようです。

今、それ必要？

ダイエットしなきゃ！そう思いながらお菓子に手をのばす。

よし、今日は徹夜で勉強だ！そう思いながらベッドに横になる。そんな経験はありませんか。

私たちの身の回りはありとあらゆる「誘惑」で溢れています。たとえば、スマホやパソコンなどの電子機器、漫画や雑誌など、例を挙げるときりがありません。

「だって人間なんだもの。誘惑に負ける時だってあるよ」。そうやって自分の弱さを肯定してしまいがちな私達。ただ、考えてみてください。自分のしたいように、心の赴くままに自分の欲求を満たす—。本当にそれでいいのでしょうか。

「たかが人間されど人間」。私達は人間です。この地球上で誘惑と闘い、勝つことができる数少ない種族なのです。でもそう簡単に誘惑に勝てるのなら苦労はしませんよね。では、この葛藤とどう闘っていけば良いのでしょうか。まず、一番大切なのは「意志の力」です。高める方法の一つは何か一つ習慣化する事。例えば、定期的な運動、瞑想、片付け朝起きてすぐにベッドメーキング等…。また、近所を一日五分歩くことや六時間以上の睡眠をとることもいいそうです。身体をリフレッシュさせ、脳を強くすることができるとか。ただし、筋肉と同じように意志力を鍛えるには時間がかかります。大事なのは小さな事でもずっと続けることです。これも意志の力は要りますよね。

どうしても誘惑に負けそうな時は今それをする必要があるのか、自分が本当にしたいことは何なのかを思い出しましょう。「タフネス長工」の目標のもと、タフな意志力で誘惑という悪魔をふっとばしましょう。（杉本）

▼これなんだろう？（機械科にて）

今日の一枚～一度きり～

好奇心キラキラ輝く心と目

テストも終了しホッと一息つきたいところですが、目前に迫るは「高総連」。新聞部は今年も運動部の活躍を限なく取材するべく、ベストの取材ルートを考えています。

さて、私は「今日の一枚」を探して探して学校中を歩き回っています。そんな私を尻目に「身の回りの全てがキラキラして見える」と言う新入部員達。彼らが撮ってくる写真からは初々しさと好奇心が滲み出ています。これからの成長が楽しみです。（畠道）

さらなる意見の集約を生徒総会

先月二十三日に開催された生徒総会。生徒会長の吉田君は後日、総会の出来について「もっとスムーズに出来たと思うのであまり納得はいっていない。点数にするならば、五十点」と話しました。

今回の総会で、毎年のように要望として挙がっていた「補助バッグの自由化」について学校側が前向きな反応を示されました。これまで実現とは程遠い場所にありましたが、バッグを製作する会社との契約終了が迫っているということで、もし自由化を実現するならば今、とのこと。リュックなどでの登校が認められる日も遠くはないかも知れません。

しかし、全ての生徒が補助バッグの自由化を望んでいるわけではありません。「長工のアイデンティティを無くすのか」「無駄な物を持ってこなければ、補助バッグの自由化を望んでいる人の中にはただ『自由』という言葉に魅せられているだけの人も多くいるのではないか」といった、事項に対して辛辣な意見を持つ生徒もまた、存在します。

「どちらでもいい」という意見をあまり聞いないことから、この事項は対して生徒が持つ意見は両極端なものようです。もしも補助バッグの自由化を実行に移そうとするのであれば、一人一人の詳細な意見を集め「あまり派手でない物に限る」など、細かなところまで認識を統一する必要がありそうです。

▲意見をぶつけていこう

青春日記♪

前回、己の身体の老いぼれ度合いについて記した私ですが、近頃はそれと並行して脳機能の衰弱も著しい。どの位ボケているかというと、時計でご飯食べようとしたり、たまに「ぬ」が書けなかったり、風呂に入ればシャンプー→流す→シャンプー→流すを忘れる→シャンプー（以下、無限ループ）なんてことをしてしまうレベル。おまけに頻尿の気も。ううむ、ネタにするには少々、というか、かなり洒落にならない。ボケ防止には日記を書くといい聞きますが、こんなに必死になって日記を書いてるのに私は阿呆になるばかり。医学も頼りないのぅ。

さて、先日行われた歓迎遠足……という名の登山。重たい腰を持ち上げ、今年で三度目となる春の岩屋山を歩き通しました。年度始めの試練とも言う。楽しめた君は勝ち組だ！

景品が貰えずがっかり、分かる、分かるぞ…。「これ遠足じゃねーよ！」という一年生の思いが手に取るように分かる…。なぜ新学期があんな巨大ミミズの蠢く起伏の激しい湿った土地を進まねばならんのか。企画者は生徒の肉体改造計画でも企てたのかしら。

歓迎遠足といえば科別交歓会。科別交歓会といえば一発芸。爆笑ネタから凍えるようなものまで数多のギャグ・モノマネが飛び交うこの日。なかでも先生方のモノマネは受けが良いだいでうすな。人気のは建築科の生徒による福田先生のモノマネ。この遠足は先生方とも仲良くなれる良い機会だと思います。

他に定番とよい上半身ヌード大会。とりあえず脱ぐ、とばかりに己の筋肉を見せたがる人のなんと多いことか。もはやこの日のために体を鍛えている人すらいるんじゃないだろうか。

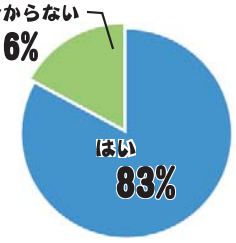
『健全な精神は健全な肉体に宿る』と言うし、私も筋トレでも始めてみようか。……明日まで覚えてたらね。（山田）

一年生アンケート

ちょっとタメになる!?

一年生の皆さん、学校にはもう慣れましたか？入学して一カ月以上経つとはいえ、未だ高校生活に不安を抱く人も多いと思います。そこで、今年も一年生全員アンケートでちょっと聞いてみました。一年生の声。皆さんの参考になれば幸いです。

Q1 高校に入学して良かったですか



一昨年は九十八%でしたが今年は九十%を切っています…。まだ、入学したばかりだからでしょうか、「わからない」と答えた人が五十人もいました。来年こそは、「はい」と答える人が増えると期待しています！

Q2 高校に入った理由は何ですか

1 資格　83票
2 就職　82票
3 将来の夢実現の為　62票

他にも「専門教科を学びたいから」が四十四票、「部活のため」という答えが二十二票ありました。既に将来のことを考えている人が多いですね。皆が将来何をしたいのか私はとても気になります。中には「工業に行けば後悔しない」と言われたり、工業の部活動を新聞やテレビなどを見て工業へ進学した人もいました。

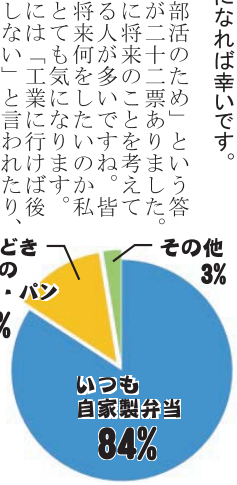
Q3 高校生になって変わったことは

1 睡眠時間　77票
2 通学　59票
3 生活リズム　35票

まだ環境の変化に慣れない人も多いようです。「オーラが変わった」などの面白い意見も多数ありました。

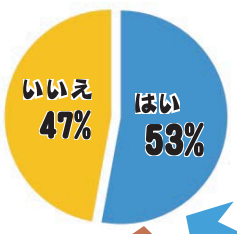
高校生活は、まだ始まったばかり！体調管理には気をつけましょう。

Q4 昼ごはんは何ですか



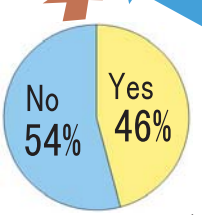
お昼の楽しみといえばお昼ご飯ですね。弁当の持参、購買で購入など、昼食にもいくつかのスタイルがあります。私は弁当派です。いつも朝早くに起きて息子や娘、孫のために弁当を作ってくれる保護者の方に感謝を伝えましょう。

Q5 靴擦れはしましたか

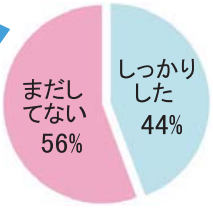


靴擦れが原因で出血した人が、自分の友だちにもいます。少なからず先輩方の中にもこういうことがおきた方もいらっしゃったようです（左図）。靴擦れには布地の厚い靴下がおすすめ。「いいえ」と答えた人も気をつけてくださいね。

靴擦れ度合が年々上昇中！



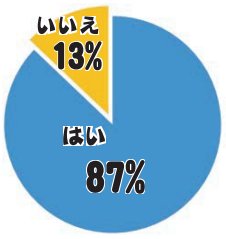
☆現在の二年生が一年生のころ



★現在の三年生が一年生のころ

右の図は、Q5と同じ質問に対する一昨年、去年の一年生の回答です。「靴擦れした」という回答は年々増加していますが、今年はついに半数を越えました。対策をしっかりとり、足裏までタフネス長工！

Q6 学校で迷いましたか



長工はとても広く、学科ごとにさまざまな教室があるので、目的の教室にすぐにたどりつけません。いまだに、まっすぐ迷うことなく行く事ができるのは体育館と自分の教室と部室くらいです…。はやく全ての教室を把握して迷わず校内を動けるようになりたいです。

Q7 これから頑張りたいことは

勉強　145票
部活　120票
勉強と部活の両立　82票
友達づくり　12票
資格　52票

皆それぞれの目標を持って新たな生活へのスタートをきりました。学力の向上、好きなことを極めること、そして資格取得など工業高校ならではのものや新しい季節になると必ずやでてくるテッパンものは誰もが持ってますよね。なので「これは頑張る」ではなく何でも頑張れるようになっていきたいですね。

ご回答ありがとうございました。今後も新聞部をよろしくお願いします。

今年の一年生は夢のために日々努力中・・・

ようこそ！ てふ工生!!!

～オバケの友達できるかな～

☆やって来ました、天然Ｂｏｙ！

シリーズ 溶接1 2 3!

半自動アーク溶接

新聞部の発行ラッシュに追われていた最近。暇をいただき、久々に溶接に取り組むと……あれ？今までやってきた基本中の基本さえも出来なくなっているではありませんか。日々の積み重ねの大切さを痛感…。

そんな中新しく始めたのが半自動アーク溶接！ボタンを押すとワイヤーが自動で出てきますが、溶接自体は手作業で行うため「半自動」と呼ばれています。今まで被服アーク溶接で燃やしてきた溶接棒がワイヤーになるだけで基本は一緒。最も大切なポイントは、自分にぴったりの電流と電圧を見つけること。只今、模索中です。（甲斐田）

▲ノズルの先からワイヤー

スポーツトピックス

悔しい気持ちを忘れずに

ハンドボール

四月十九日～二十一日に本校他で行われた長崎県高等学校春季選手権大会ハンドボール競技。本校のハンドボール部はベスト4という結果でした。

この結果に対しキャプテンのP3薬師寺克則君は「負けて悔しい気持ちを忘れず、春季戦で見つかった課題を克服して、高総体では準決勝で勝てるように頑張りたい」と話してくれました。ちなみに試合前には円陣を組み、心をひとつにして戦いに挑むそうです。

この悔しさをバネに高総体での活躍を願っています。

▶今年こそは！

好調な滑り出し

男子ソフトテニス

四月十九日に長崎市総合運動公園かきどまり庭球場で長崎地区高等学校ソフトテニス春季選手権大会が行われました。この大会で林田・平川ペアが優勝。清水・辻村ペアがベスト4という輝かしい成績を収めました。優勝した林田・平川ペアに感想を聞いてみると「シードで出て、プレッシャーがあったけど勝てて良かった」と林田君。平川君は「目標を達成できて嬉しい」と話してくれました。また、二人とも次の個人戦で優勝」と高総体での勝利に意気込んでいました。

▲優勝するぞ！

新たな気持ちで…

一年生な☆日々

桜舞う季節になぜか桜と出会えなかった今年の春。見にいけばいったらもう葉桜という間の悪さ。花見はできませんでしたが、この春休みは宿題は早く終わらせたっぷり遊びました。

節目ということで家族と温泉旅行もしました。温泉に入るのは実に五年振り。中学三年間の疲れを癒してきました。

さて、旅行の楽しみといえば旅館の夕食。名前も知らないような豪華な料理が並び、気分は最高潮。しかし、いざ食べてみるとその量の少ないこと。物足りなさを感じましたけどね…。

そして旅行の帰りによく立ち寄る展望台。そこには特製の味付き衣で島原のジャガイモを包んだ「じゃがちゃん」があるが！この味が忘れられず、いつも食べていたいと思うほど。衣カリカリ、ほどよい塩味と甘みが病みつきになりました。

そんな旅行も終わって、始まった高校生活。最初に頭を抱えて悩んだ末に入部したのがこの新聞部！きっかけはポスターや新聞でした。どこか魅かれるものがあり、入部を決意。これから三年間頑張りますのでよろしくお願いします。（溝上）

編集後記

次第に早まってゆく〆切を幾度もの乗り越え、いよいよ次号に迫った「工業つ子」第一〇〇号。特に何があるわけでは無いけれど、何となく達成感。次は二〇〇号を目指します。三日に一回の発行ペースなら卒業に間に合うか…。